

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

平成28年 1 月25日

協議会名: 芦別市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
空知交通株式会社	【本町循環線】 ①芦別駅前～駅裏～芦別駅前 ②芦別駅前～芦別高校～芦別駅前 【車両減価償却費等国庫補助金】	協議会では、「簡単に利用増につながる需要の掘り起こしは困難であるため、既存需要に応じたサービスを提供できるよう、便数・ダイヤ・路線の見直しを含めた議論をしていくことで一致したが、事業者と具体的なところまで煮詰めることができなかった。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	C 目標5.0人/便に対して、4.0人/便であった。理由としては、冬期間以外における利用者が伸び悩んだことによる。また、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けて車両更新を行ったことで、修繕費用の増加を抑制できた。	路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。
	【上芦別循環線】 ①芦別駅前～上芦別駅前(往復市立病院)～芦別駅前 ②芦別駅前～上芦別駅前(片道市立病院)～芦別駅前 ③芦別駅前～上芦別駅前(南1条)～芦別駅前 【車両減価償却費等国庫補助金】	協議会では、「簡単に利用増につながる需要の掘り起こしは困難であるため、既存需要に応じたサービスを提供できるよう、便数・ダイヤ・路線の見直しを含めた議論をしていくことで一致したが、事業者と具体的なところまで煮詰めることができなかった。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	C 目標38,000人/年に対して、33,430人/年であった。理由としては、冬期間以外における利用者が伸び悩んだことによる。また、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けて車両更新を行ったことで、修繕費用の増加を抑制できた。	路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。
	【頼城循環線】 ①芦別駅前～西芦別(南1条)～芦別駅前 ②芦別駅前～西芦別(片道市立病院)～芦別駅前 ③芦別駅前～頼城(南1条)～芦別駅前 ④芦別駅前～頼城(片道市立病院)～芦別駅前 ⑤芦別駅前～頼城(往復市立病院)～芦別駅前 【車両減価償却費等国庫補助金】	協議会では、「簡単に利用増につながる需要の掘り起こしは困難であるため、既存需要に応じたサービスを提供できるよう、便数・ダイヤ・路線の見直しを含めた議論をしていくことで一致したが、事業者と具体的なところまで煮詰めることができなかった。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	C 目標46,000人/年に対して、43,016人/年であった。理由としては、冬期間以外における利用者が伸び悩んだことによる。また、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けて車両更新を行ったことで、修繕費用の増加を抑制できた。	路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。
	【新芦別温泉線】 芦別駅前～芦別温泉～芦別駅前 【車両減価償却費等国庫補助金】	協議会では、「簡単に利用増につながる需要の掘り起こしは困難であるため、既存需要に応じたサービスを提供できるよう、便数・ダイヤ・路線の見直しを含めた議論をしていくことで一致したが、事業者と具体的なところまで煮詰めることができなかった。	A 事業は、計画どおり適切に実施された。	A 目標15,000人/年に対して、15,462人/年であり、目標値を上回っている。また、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けて車両更新を行ったことで、修繕費用の増加を抑制できた。	路線、ダイヤ、運行形態のあり方を含めた抜本的な見直しを検討し、温泉の利用促進を図る。

事業実施と生活交通ネットワーク計画との関連について

平成28年 1 月25日

協議会名:	芦別市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>【地域内フィーダー】 芦別市は、人口の減少及び高齢化の急速な進展といった社会的問題、また、広大な行政区域に集落が点在するといった地理的問題を有している。 こうした中、市内バス路線を運行していた事業者が、利用者の減少による収支の悪化を理由に、平成19年度末ですべての路線を廃止し、その後を地元交通事業者である空知交通(株)がキラキラバスとして路線を引き継ぎ運行してきた。 しかし、利用者の減少に歯止めがかからず、減便による運行コストの削減を図るものの、運行収支の悪化による市及び事業者の負担が年々増加し、市民生活の足となる路線の維持確保が危うい状況となってきた。 このため、平成23年度に実施した市民アンケート調査及び平成24年度に実施した「地域公共交通調査事業」の結果をもとに、「地域公共交通確保維持事業」により、市及び事業者の負担の軽減と、高齢者等の交通弱者の通院や買物など生活の足を確保し、地域の実情に適した持続可能な公共交通体系を構築することを目的として、4路線の循環バス及び将来的な乗合タクシーの運行も視野に入れたなかで本計画を策定した。 平成23年度に実施した市民アンケート調査では、市内路線バスと地域間幹線系統バス及びJRとの接続への配慮や、バス待合所の確保、循環バスや乗合タクシーの運行を希望する意見が多くあった。 当市には、旭川市、砂川市、滝川市など他市へ通院する高齢者も多いことから、JR及び地域間幹線系統(滝芦線、芦旭線)との接続に配慮するとともに、持続可能な公共交通手段の確保とサービスの提供を維持することを目的とする。</p> <p>【車両取得】 平日の朝、一度に4台運行する時間帯があり、予備車を含め5台体制にしなければならないこと、また、車両の1台は平成8年登録車で、老朽化が進み維持が困難となりつつあることから、平成26年度に車両の取得を行った。</p>

芦別市地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

芦別市は、広大な行政区域に集落が点在するといった地理的問題を有している。こうしたで、市内バス路線は、通院、通学など市民生活の足として重要な役割を果たしてきたが、自家用車の普及、人口の減少などの理由からバス利用者は減少の一途をたどっている。

当市の人口に占める65歳以上の高齢者の割合は40%を超えており、旭川市、砂川市、滝川市など他市に通院する方も多く、そうした市民にとって市内バス路線は、JR及び地域間幹線系統(滝芦線、芦旭線)と接続する重要な交通手段であり、今後更に高齢化が進展するなかで、交通弱者の通院や買い物など市民生活の足として、幹線系統に接続する市内バス路線の確保維持が必要である。

生活交通ネットワーク計画の目標

1 本町循環線	5,000人/便
2 上芦別循環線	38,000人/年
3 頼城循環線	46,000人/年
4 新芦別温泉線	15,000人/年

車両減価償却費国庫補助 老朽化した車両の更新による車両修繕費用軽減

平成27年度事業概要

【本町循環線】 ①芦別駅前～駅裏～芦別駅前 ②芦別駅前～芦別高校～芦別駅前

【上芦別循環線】 ①芦別駅前～上芦別駅前(往復市立病院)～芦別駅前 ②芦別駅前～上芦別駅前(片道市立病院)～芦別駅前 ③芦別駅前～上芦別駅前(南1条)～芦別駅前

【頼城循環線】 ①芦別駅前～西芦別(南1条)～芦別駅前 ②芦別駅前～西芦別(片道市立病院)～芦別駅前 ③芦別駅前～頼城(南1条)～芦別駅前 ④芦別駅前～頼城(片道市立病院)～芦別駅前 ⑤芦別駅前～頼城(往復市立病院)～芦別駅前

【新芦別温泉線】 ①芦別駅前～芦別温泉～芦別駅前

【車両減価償却費国庫補助】

地域公共交通の現況

- ・JR根室本線 (芦別駅、上芦別駅、野花南駅)
- ・空知交通(株) (市内4路線)
- ・北海道中央バス(株) (地域間幹線2路線、都市間高速1路線)
- ・スクールバス (5路線)

協議会開催状況

- 平成26年06月27日 平成26年度第1回会議を開催
地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
- 平成27年01月22日 平成26年度第2回会議を開催
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- 平成27年6月15日 平成27年度第1回会議を開催
輸送実績報告について
地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について
- 平成28年1月25日 平成27年度第2回会議を開催
輸送実績報告について
地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

平成27年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

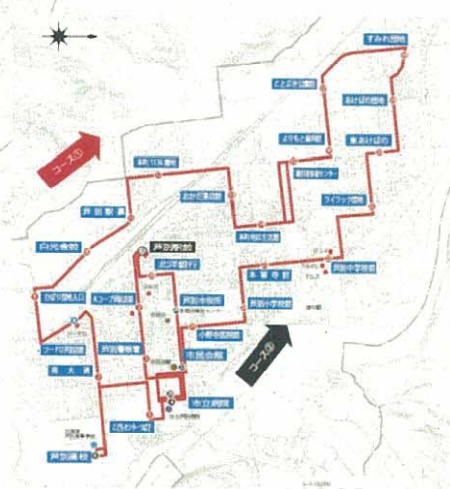
- 平成23年度に実施した市民アンケート調査及び昨年度実施した「地域公共交通調査事業」の結果をもとに、25年11月から4路線の循環バスを本格運行
- バス事業者事務所、バス車内、市広報等でフィーダー路線の周知
- バス車体にマグネット広告を掲示し、少額ではあるが運送外収入の確保を図った

2) 運行系統

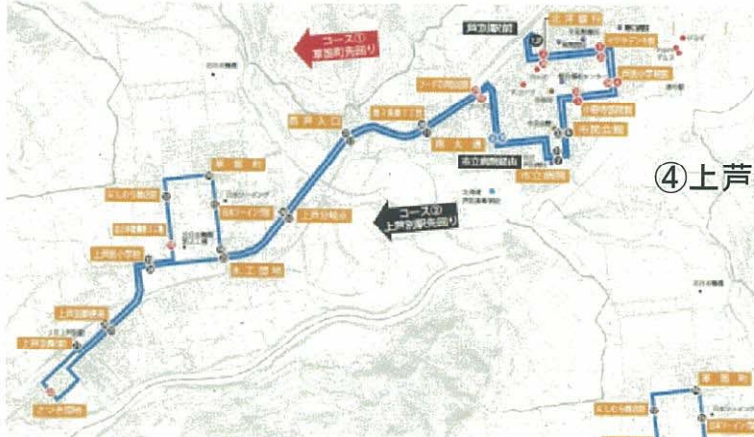
①本町循環線



②本町循環線 (高校経由)



③上芦別循環線 (往復病院経由)



④上芦別循環線 (片道病院経由)



⑤上芦別循環線 (国道経由)



⑥ 頼城循環線
(国道經由西芦別)



⑦ 頼城循環線
(片道病院經由西芦別)



⑧ 頼城循環線 (国道經由頼城)



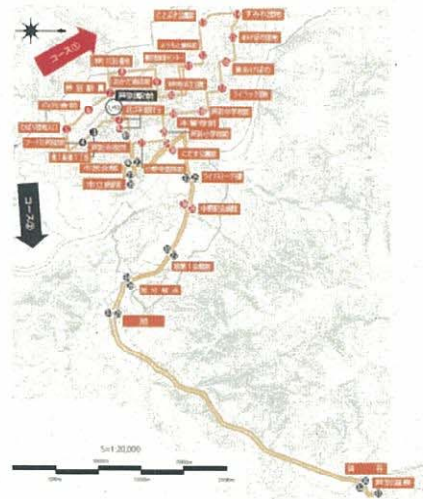
⑨ 頼城循環線 (片道病院經由頼城)



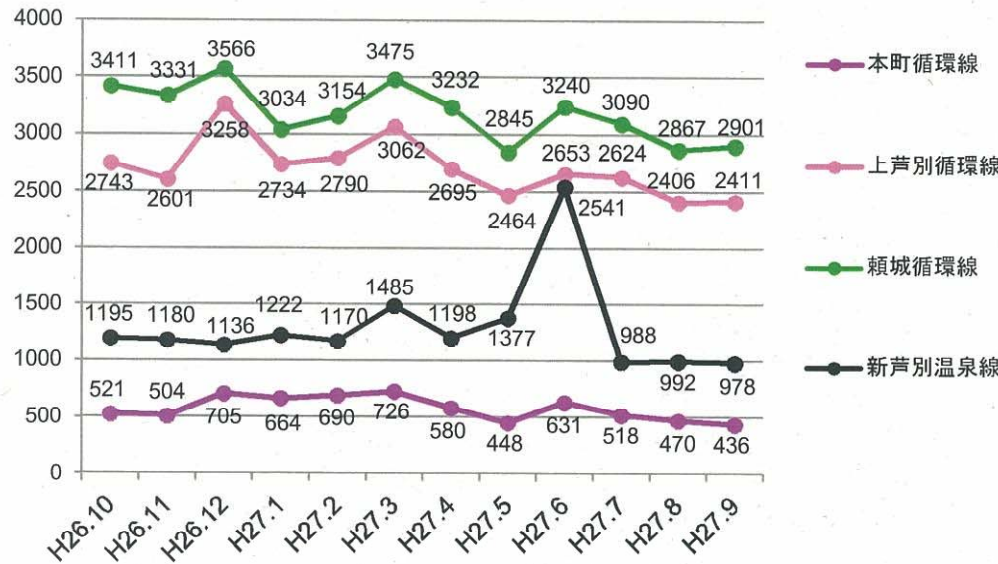
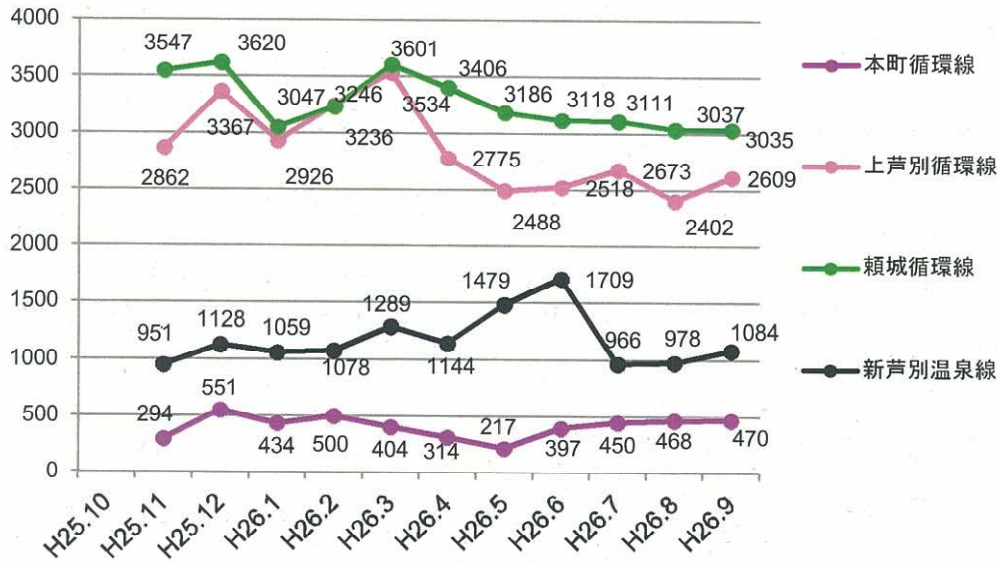
⑩ 頼城循環線 (往復病院經由頼城)



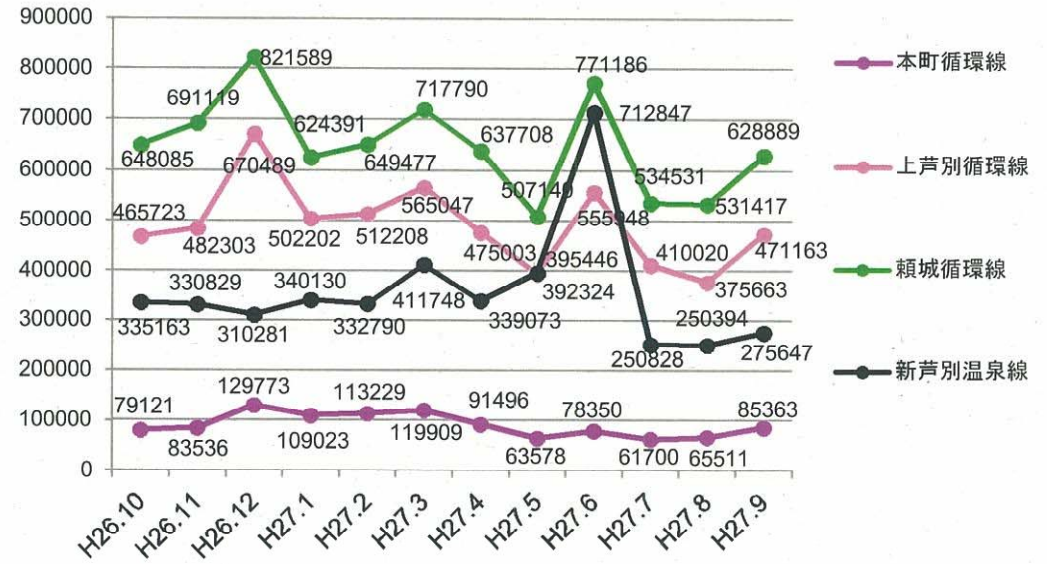
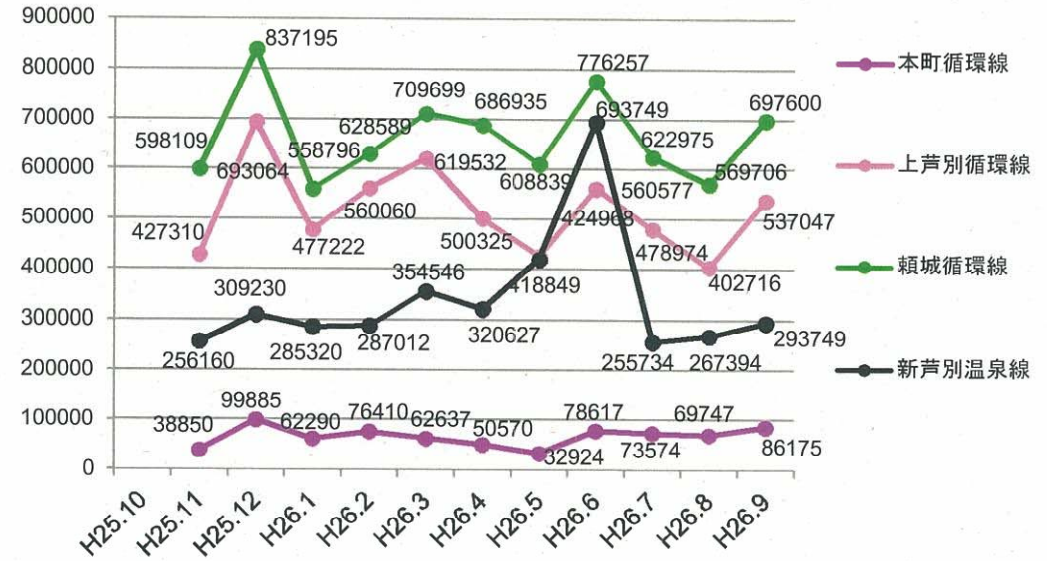
⑪ 新芦別温泉線



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

フィーダー事業は計画どおり適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

【本町循環線】

冬期間以外の時期に利用者が伸び悩んだことから、目標5.0人/便に対して、4.0人/便であった。

【上芦別循環線】

冬期間以外の時期に利用者が伸び悩んだことから、目標38,000人/年に対して、33,430人/年であった。

【頼城循環線】

冬期間以外の時期に利用者が伸び悩んだことから、目標46,000人/年に対して、43,016人/年であった。

【新芦別温泉線】

目標15,000人/年に対して、15,462人/年で目標値を上回った。

【車両減価償却費等国庫補助】

補助金の交付を受けて車両更新を行ったことで、修繕費用の増加を抑制することができた。

7) 事業の今後の改善点

【本町循環線】

路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。

【上芦別循環線】

路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。

【頼城循環線】

路線、便数、ダイヤを含む抜本的な見直しと冬期間以外の利用促進に向けた啓発活動の実施を検討する。

【新芦別温泉線】

路線、ダイヤ、運行形態のあり方を含めた抜本的な見直しを検討し、温泉の利用促進を図る。

8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄

平成27補助年度 芦別市内4路線月別輸送実績 (税抜)

①運送収入

単位:円

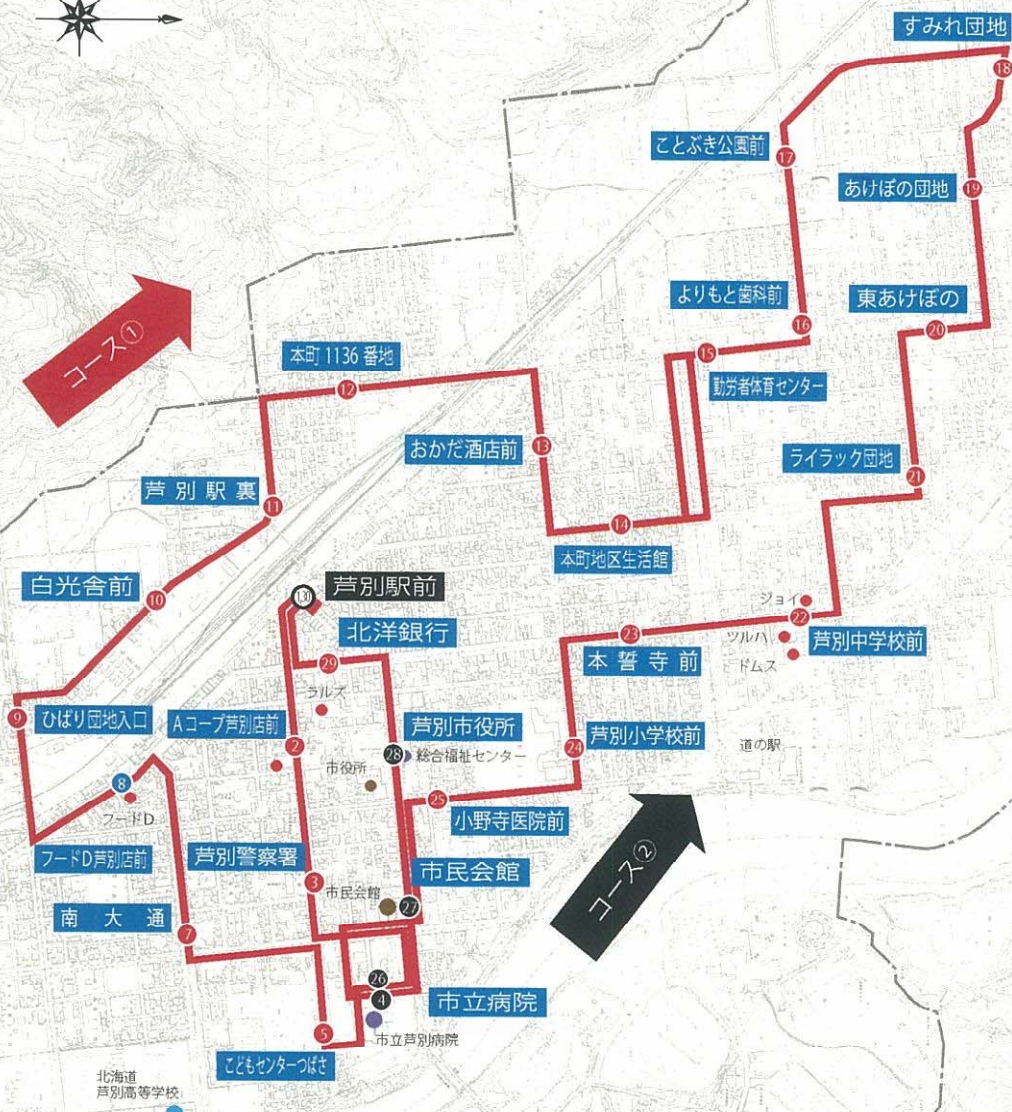
路線名	本町			上芦別					頼城								芦別温泉		合計
	1 2	3 4	計	11 12	13 14	15	17 18	計	21 22	24	25 26	27 28	29 30	31 32	33 34	計	41 42	計	
	系統番号	系統キロ数		15.1	12.8	10.5	5.4		14.9	17.2	23.3	25.5	27.8	7.3	11.8		24.4		
	起点	芦別駅前		芦別駅前				芦別駅前								芦別駅前			
	経由	市立	芦高	往復病院	片道病院	国道	国道片道	西芦往復国道	西芦片道国道	頼城往復国道	頼城片道病院	頼城往復病院	国道	国道	芦別温泉				
終点	芦別駅前		芦別駅前			上芦別駅前	芦別駅前					西芦5丁目	頼城	芦別駅前					
10月	67,276	11,845	79,121	203,234	200,857	61,632	14,093	479,816	39,555	24,947	62,651	318,283	202,649	44,971	29,972	723,028	335,163	335,163	1,617,128
11月	61,326	22,210	83,536	189,880	218,993	73,430	14,834	497,137	46,417	25,090	96,154	337,490	185,968	48,745	27,472	767,336	330,829	330,829	1,678,838
12月	94,799	34,974	129,773	311,166	279,679	79,644	18,933	689,422	45,357	34,417	89,065	393,994	258,756	60,279	31,641	913,509	310,281	310,281	2,042,985
1月	75,692	33,331	109,023	210,690	227,956	63,556	15,981	518,183	40,122	19,883	75,363	306,058	182,965	47,756	28,052	700,199	340,130	340,130	1,667,535
2月	80,081	33,148	113,229	225,996	222,691	63,521	14,136	526,344	37,616	20,582	75,741	311,541	203,997	48,261	29,501	727,239	332,790	332,790	1,699,602
3月	85,224	34,685	119,909	249,307	241,188	74,552	16,793	581,840	44,961	23,016	73,929	360,820	215,064	53,705	30,873	802,368	411,748	411,748	1,915,865
4月	71,304	20,192	91,496	206,569	197,228	71,206	15,333	490,336	36,469	23,517	66,599	310,726	200,397	48,056	27,482	713,246	339,073	339,073	1,634,151
5月	48,819	14,759	63,578	163,999	167,024	61,301	14,967	407,291	37,892	16,944	73,779	228,059	150,466	35,427	22,715	565,282	395,446	395,446	1,431,597
6月	69,469	8,881	78,350	252,804	230,504	72,640	13,689	569,637	46,732	27,954	79,010	381,717	235,773	50,573	33,466	855,225	712,847	712,847	2,216,059
7月	54,159	7,541	61,700	181,925	176,095	52,000	10,737	420,757	30,392	21,644	55,592	254,359	172,544	35,284	22,727	592,542	250,828	250,828	1,325,827
8月	55,292	10,219	65,511	169,846	163,121	42,696	11,886	387,549	34,022	17,692	65,858	253,469	160,376	37,652	19,402	588,471	250,394	250,394	1,291,925
9月	70,494	14,869	85,363	201,116	207,186	62,861	14,492	485,655	38,002	22,952	84,867	290,109	192,959	47,407	27,024	703,320	275,647	275,647	1,549,985
合計	833,935	246,654	1,080,589	2,566,532	2,532,522	779,039	175,874	6,053,967	477,537	278,638	898,608	3,746,625	2,361,914	558,116	330,327	8,651,765	4,285,176	4,285,176	20,071,497

平成27補助年度 芦別市内4路線月別輸送実績 (税抜)

②輸送人員

単位:人

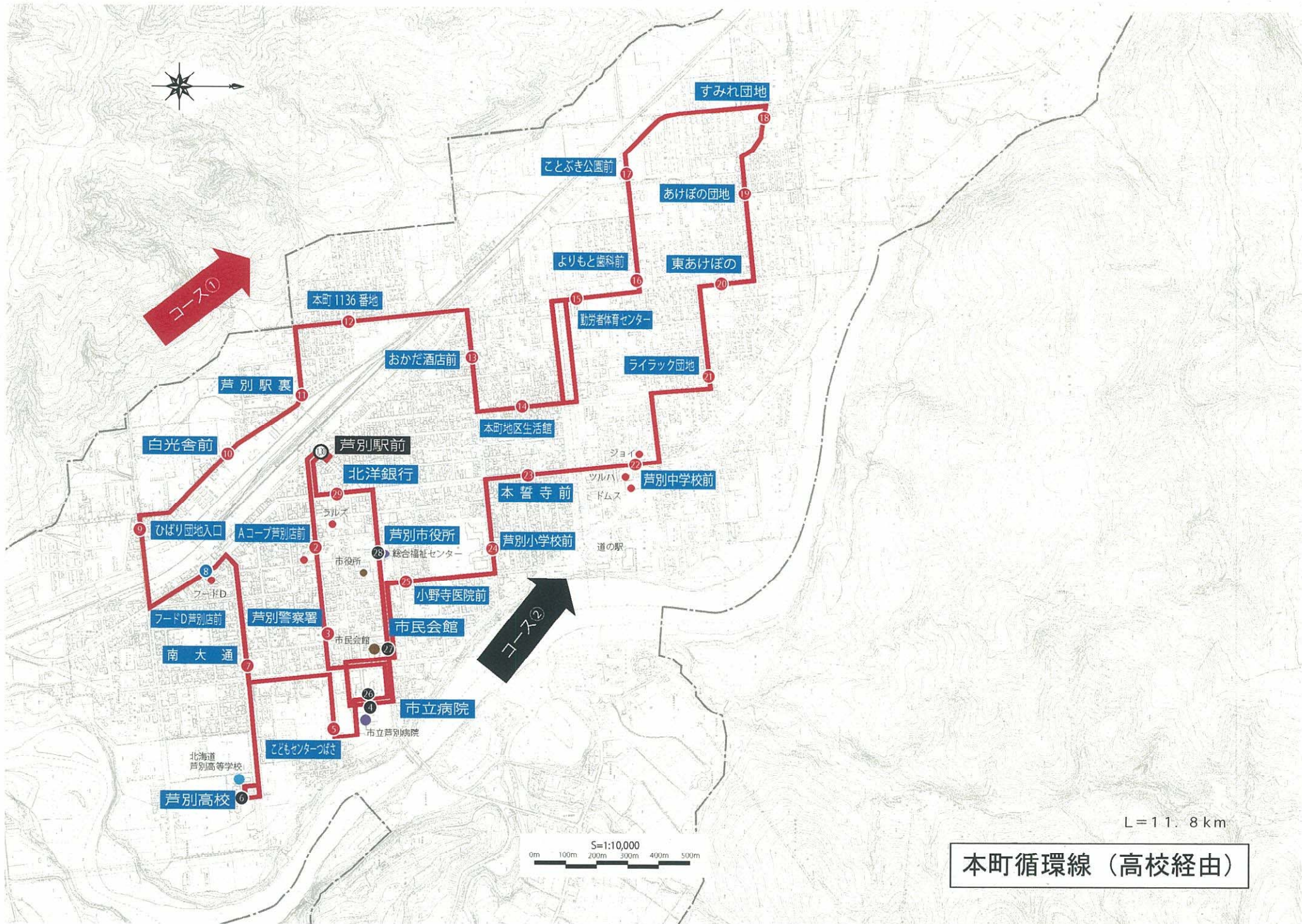
路線名	本町			上芦別				頼城								芦別温泉		合計	
	1 2	3 4	計	11 12	13 14	15	17 18	計	21 22	24	25 26	27 28	29 30	31 32	33 34	計	41 42		計
系統番号	11.0	11.8		15.1	12.8	10.5	5.4		14.9	17.2	23.3	25.5	27.8	7.3	11.8		41 42		
系統キ口数																24.4			
起点	芦別駅前		計	芦別駅前				計	芦別駅前								計	合計	
經由	市立	芦高		往復病院	片道病院	国道	国道片道		西芦往復国道	西芦片道国道	頼城往復国道	頼城片道病院	頼城往復病院	国道	国道	芦別駅前			
終点	芦別駅前			芦別駅前			上芦別駅前		芦別駅前				西芦5丁目	頼城	芦別温泉				
終点	芦別駅前			芦別駅前			上芦別駅前		芦別駅前				西芦5丁目	頼城	芦別駅前				
10月	443	78	521	1,197	1,183	363	83	2,826	241	152	324	1,646	1,048	274	155	3,840	1,195	1,195	8,382
11月	370	134	504	1,024	1,181	396	80	2,681	259	140	455	1,597	880	272	130	3,733	1,180	1,180	8,098
12月	515	190	705	1,512	1,359	387	92	3,350	228	173	380	1,681	1,104	303	135	4,004	1,136	1,136	9,195
1月	461	203	664	1,147	1,241	346	87	2,821	226	112	360	1,462	874	269	134	3,437	1,222	1,222	8,144
2月	488	202	690	1,231	1,213	346	77	2,867	212	116	362	1,489	975	272	141	3,567	1,170	1,170	8,294
3月	516	210	726	1,351	1,307	404	91	3,153	252	129	352	1,718	1,024	301	147	3,923	1,485	1,485	9,287
4月	452	128	580	1,172	1,119	404	87	2,782	214	138	332	1,549	999	282	137	3,651	1,198	1,198	8,211
5月	344	104	448	1,030	1,049	385	94	2,558	246	110	406	1,255	828	230	125	3,200	1,377	1,377	7,583
6月	507	124	631	1,164	1,154	335	72	2,725	249	161	311	1,524	995	280	143	3,663	2,541	2,541	9,560
7月	405	113	518	1,176	1,119	329	71	2,695	224	160	347	1,430	929	266	134	3,490	988	988	7,691
8月	385	85	470	1,027	1,058	321	74	2,480	202	122	380	1,299	864	252	121	3,240	992	992	7,182
9月	356	80	436	1,001	1,064	346	81	2,492	217	99	391	1,333	861	245	122	3,268	978	978	7,174
合計	5,242	1,651	6,893	14,032	14,047	4,362	989	33,430	2,770	1,612	4,400	17,983	11,381	3,246	1,624	43,016	15,462	15,462	98,801



L = 11.0 km

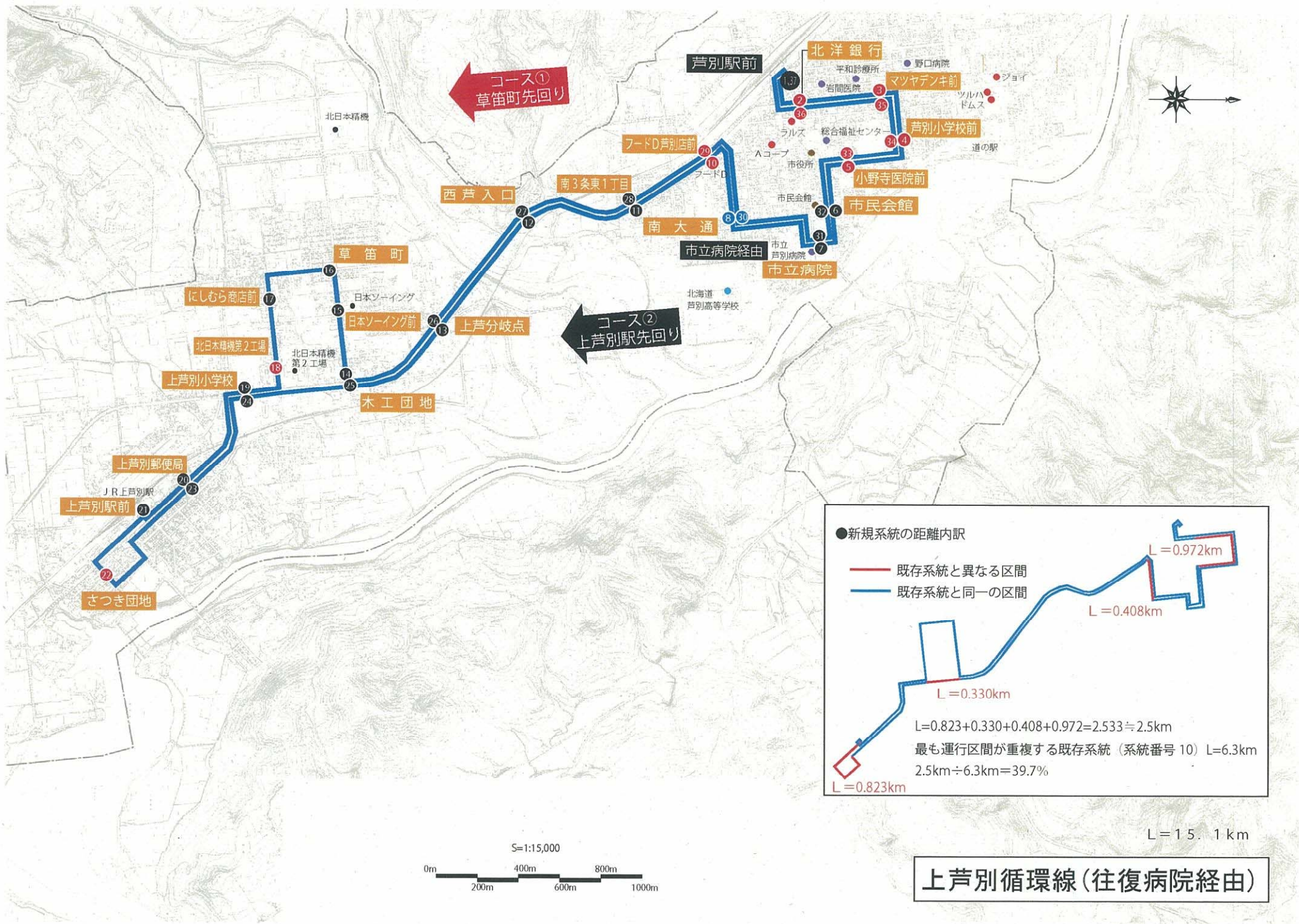
S = 1:10,000
0m 100m 200m 300m 400m 500m

本町循環線



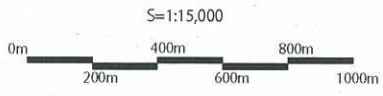
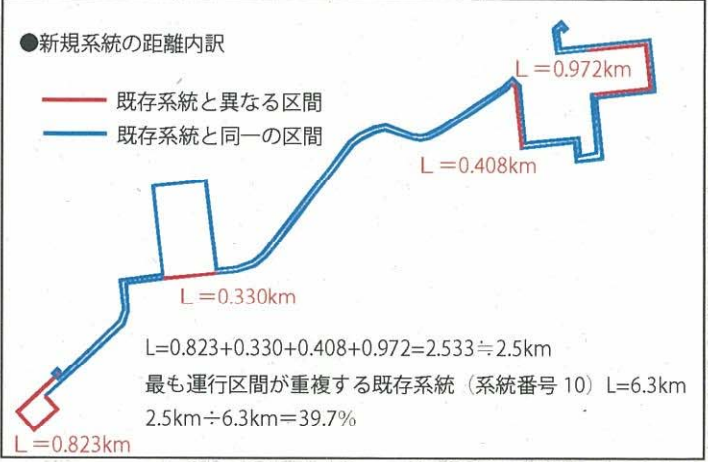
L = 11.8 km

本町循環線 (高校経由)



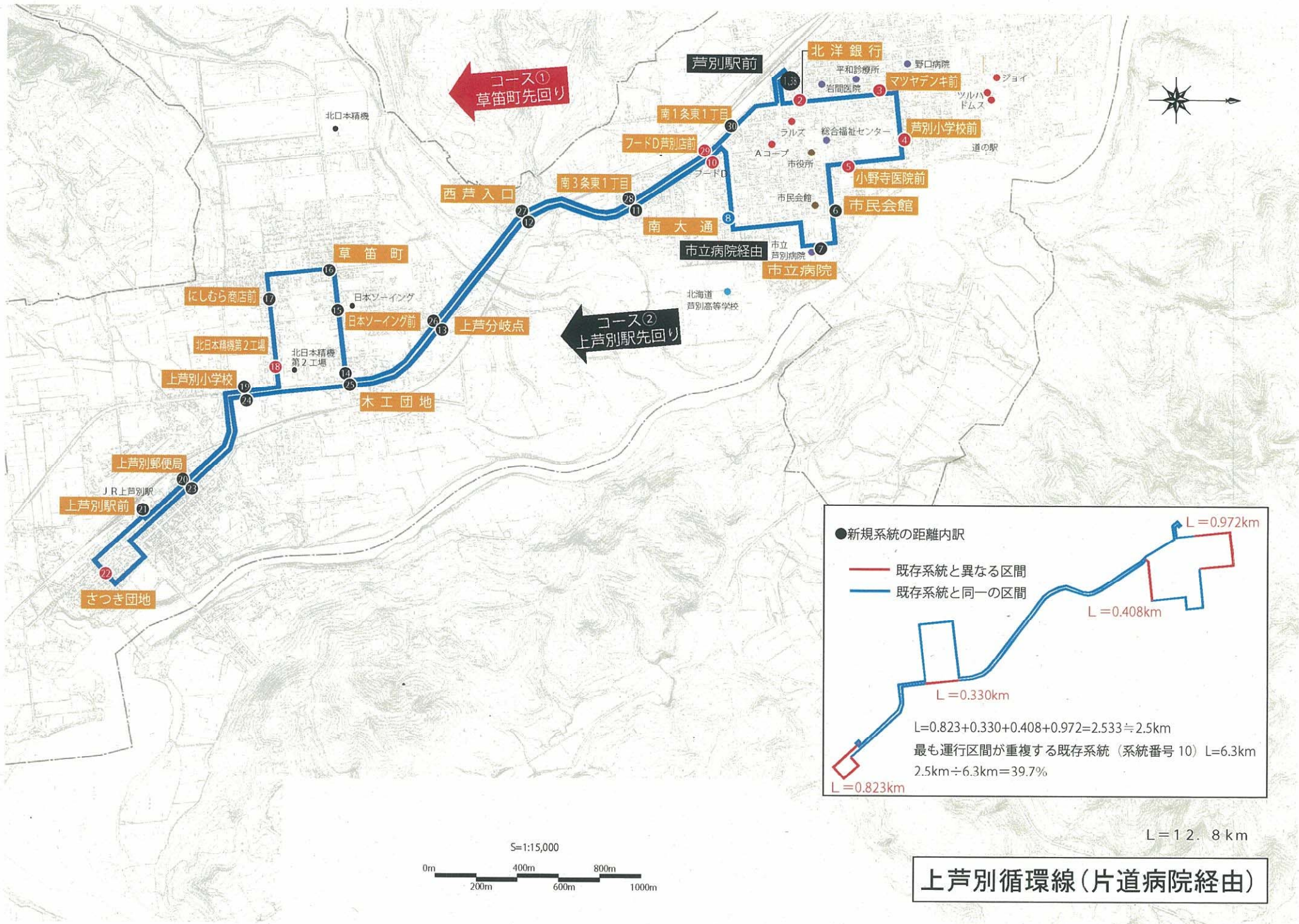
コース①
草笛町先回り

コース②
上芦別駅先回り



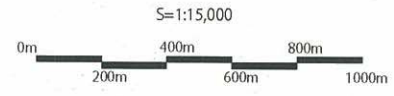
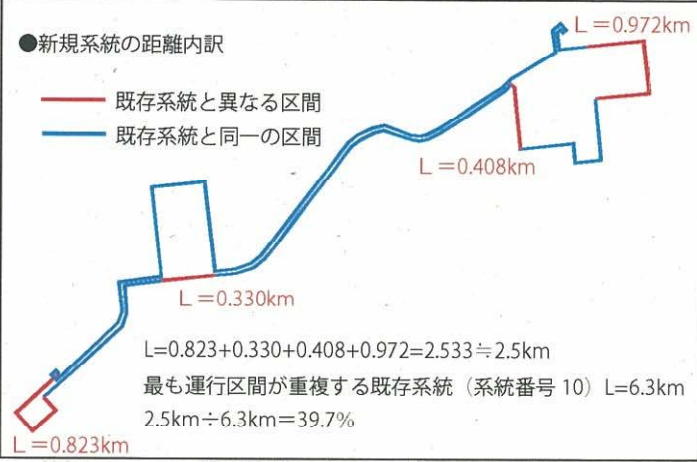
L = 15.1 km

上芦別循環線 (往復病院経由)



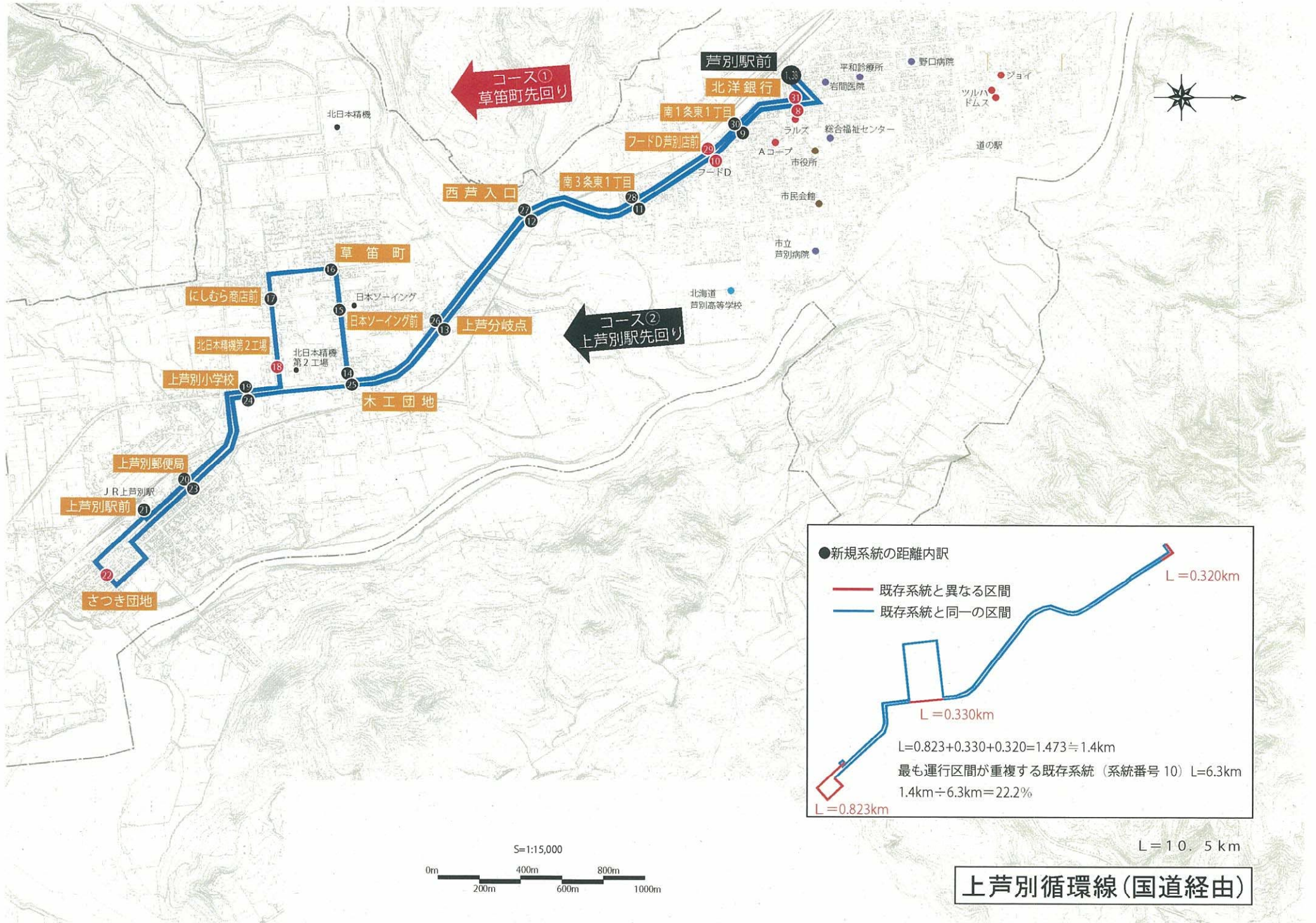
コース①
草笛町先回り

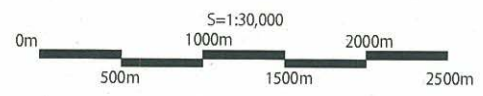
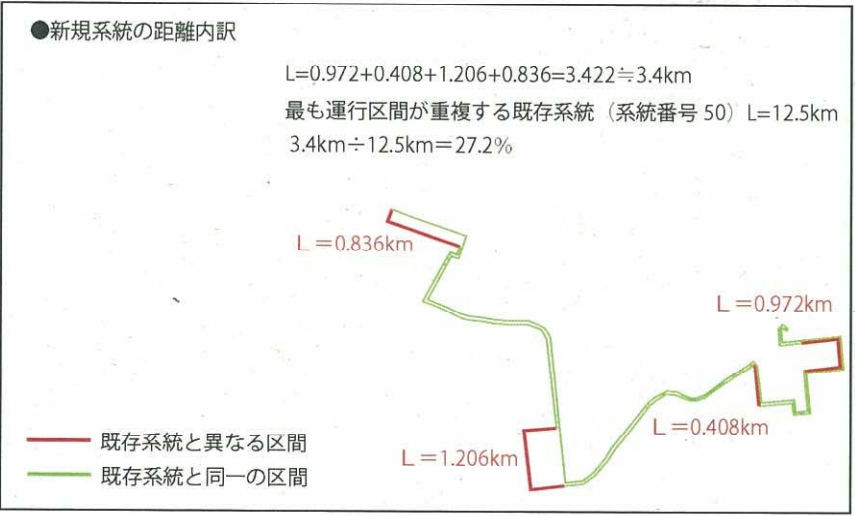
コース②
上芦別駅先回り



L = 12.8 km

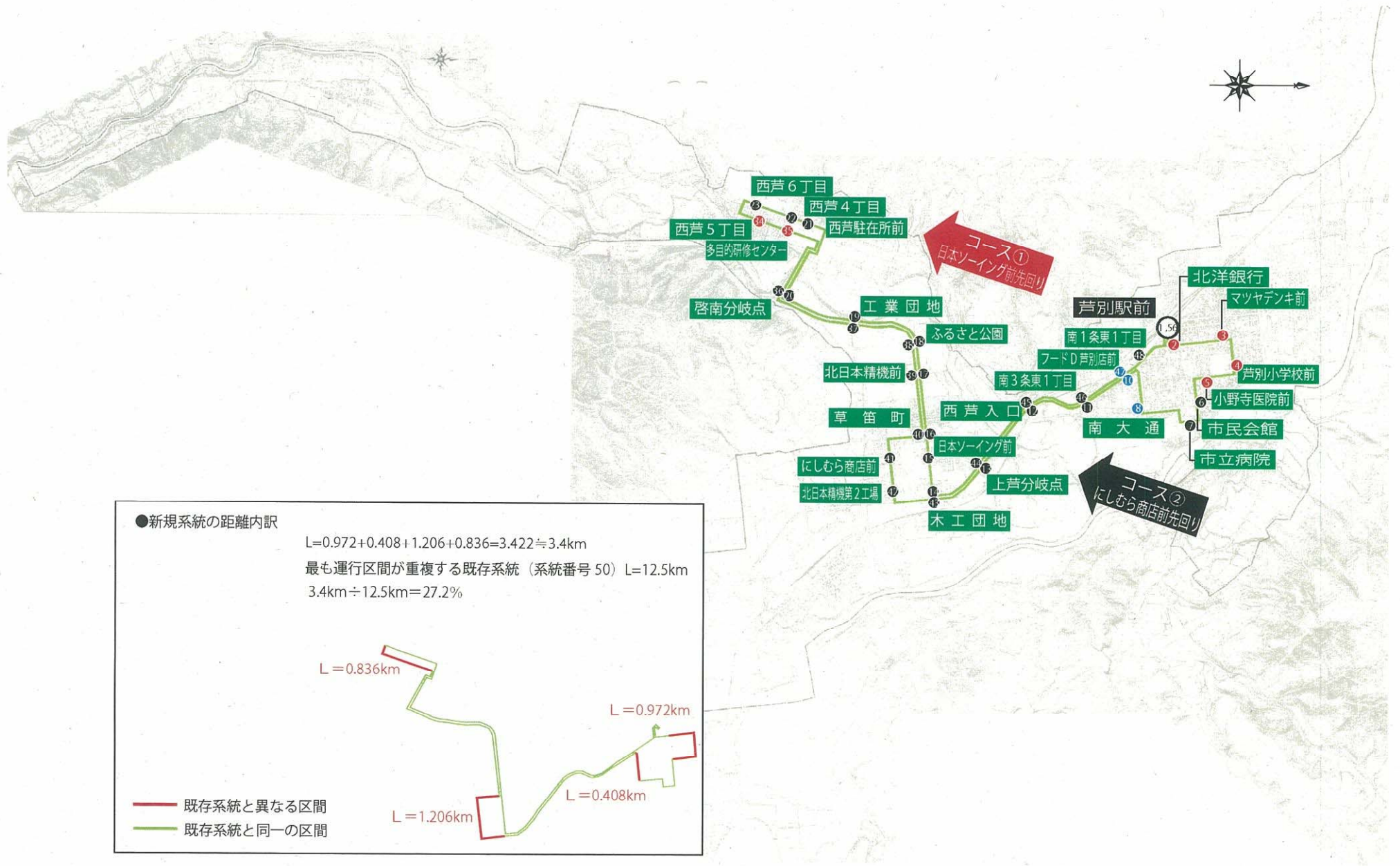
上芦別循環線 (片道病院経由)





L=14.9km

頼城循環線（往復国道經由西芦別）



●新規系統の距離内訳

$L=0.972+0.408+1.206+0.836=3.422 \div 3.4\text{km}$

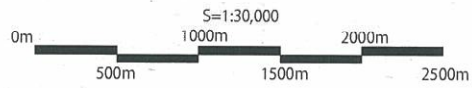
最も運行区間が重複する既存系統（系統番号 50） $L=12.5\text{km}$

$3.4\text{km} \div 12.5\text{km}=27.2\%$

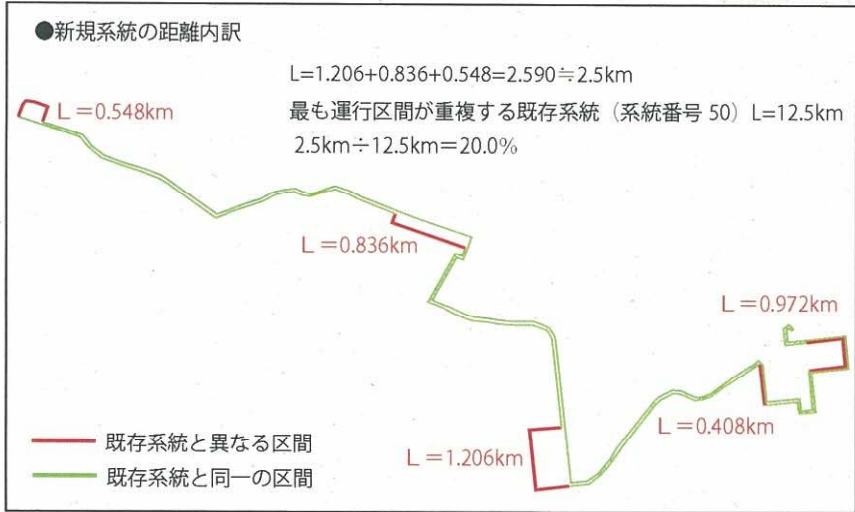
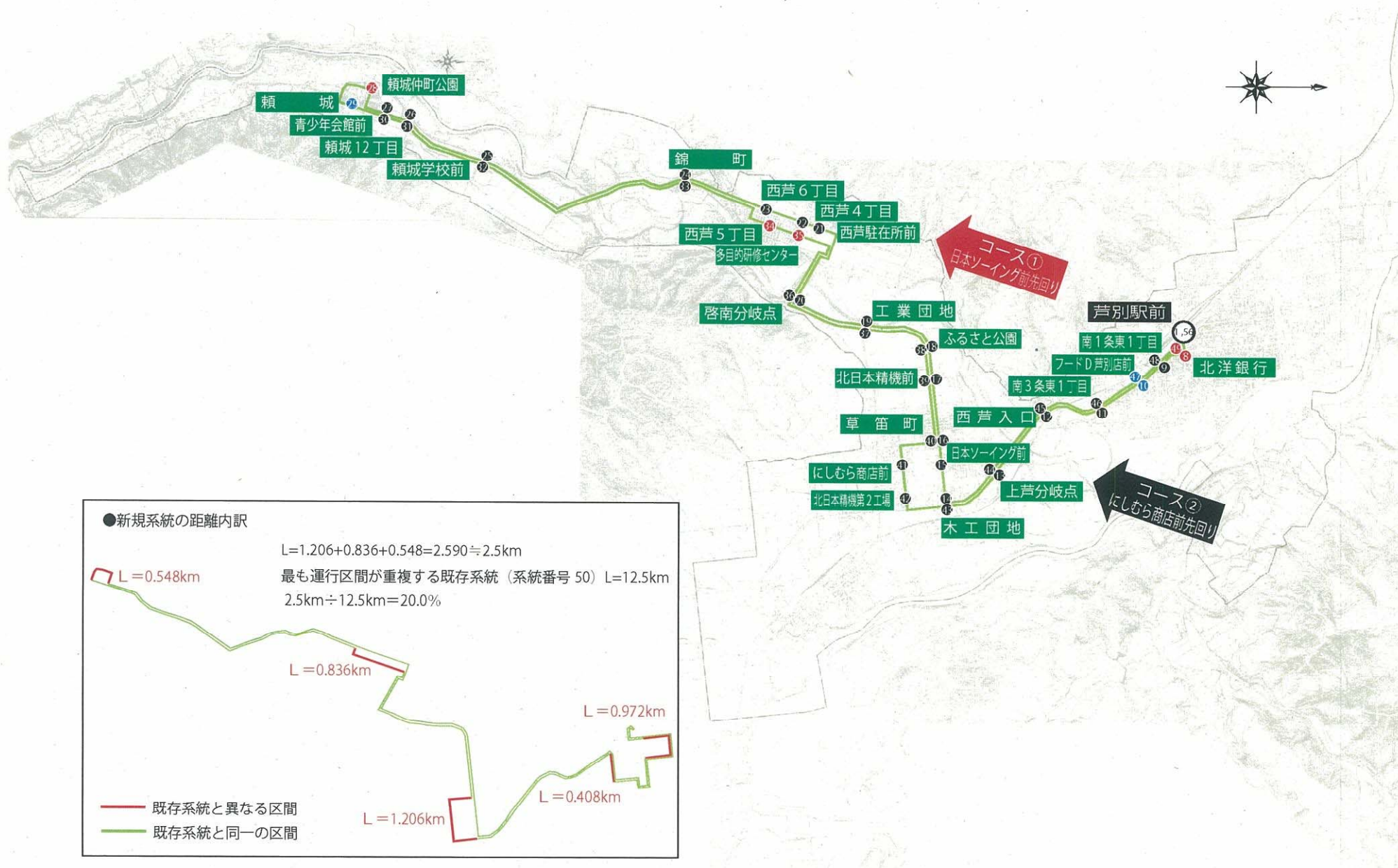
— 既存系統と異なる区間

— 既存系統と同一の区間

L=17.2 km

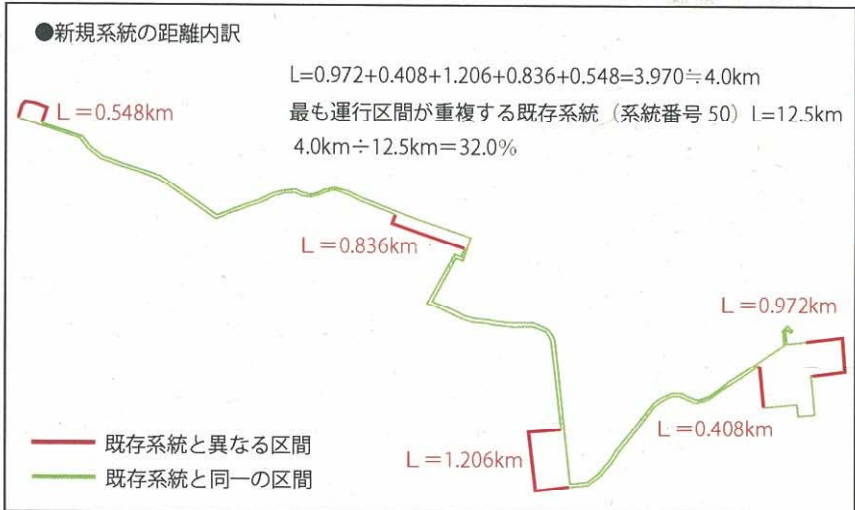


頼城循環線（片道病院經由西芦別）

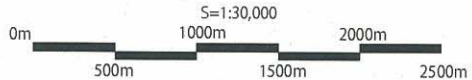


L=23.2 km

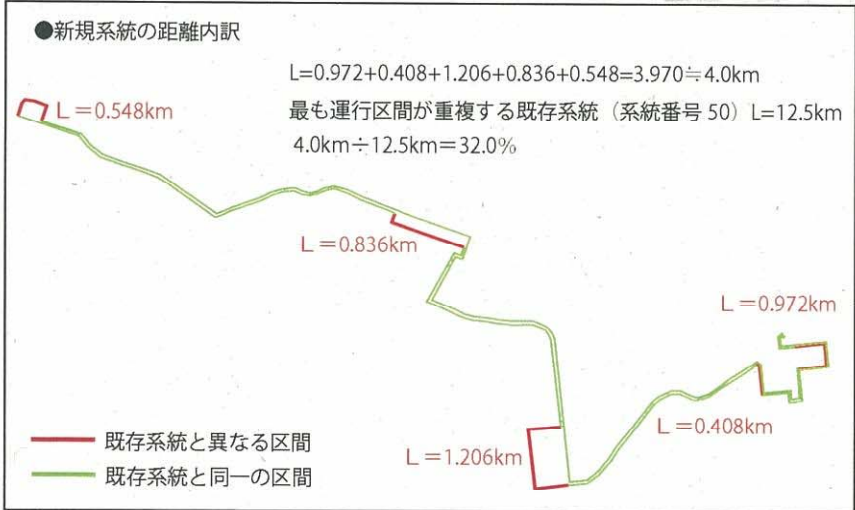
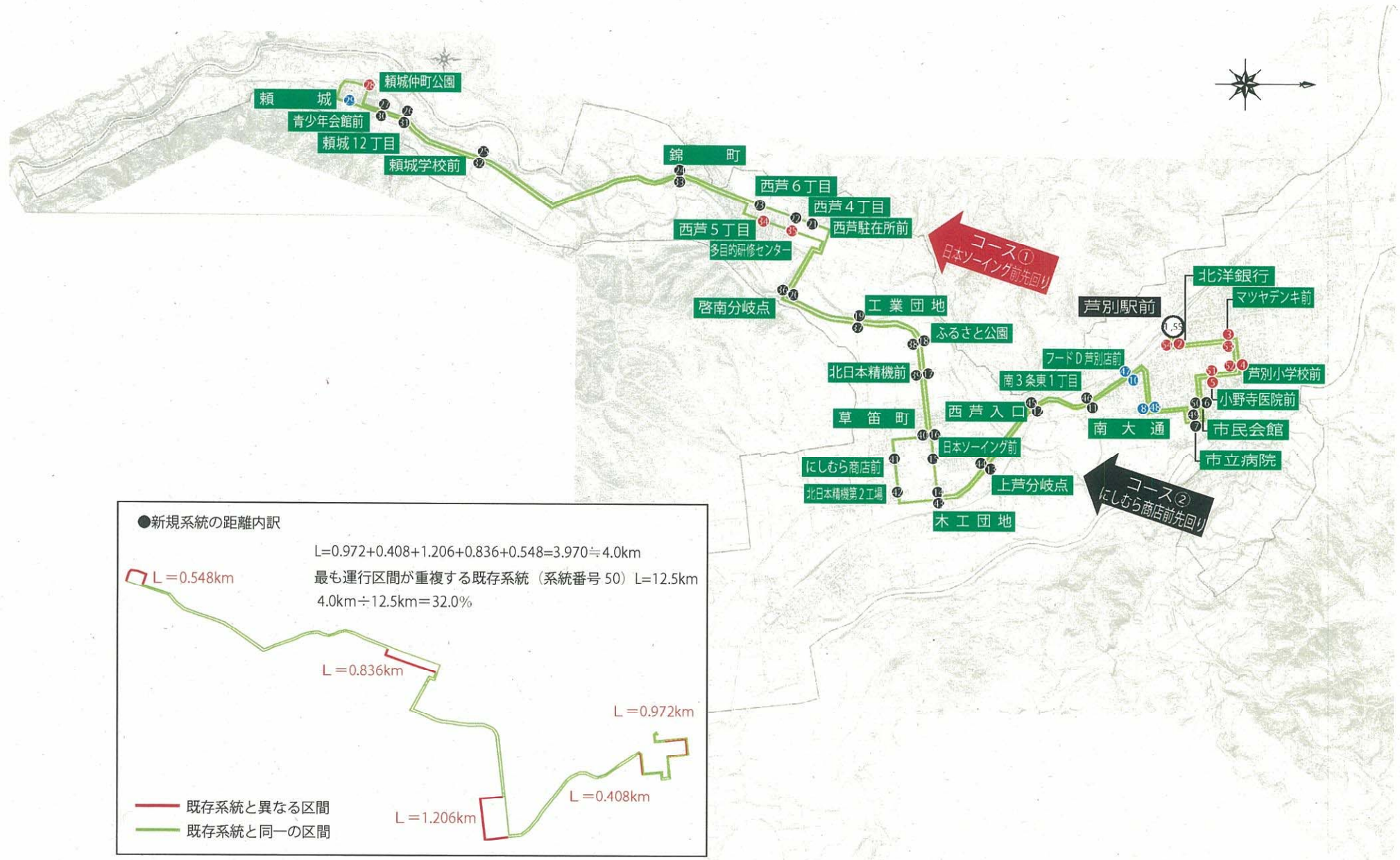
頼城循環線 (往復国道經由頼城)



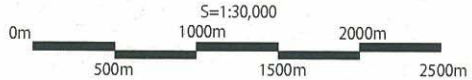
L=25.5 km



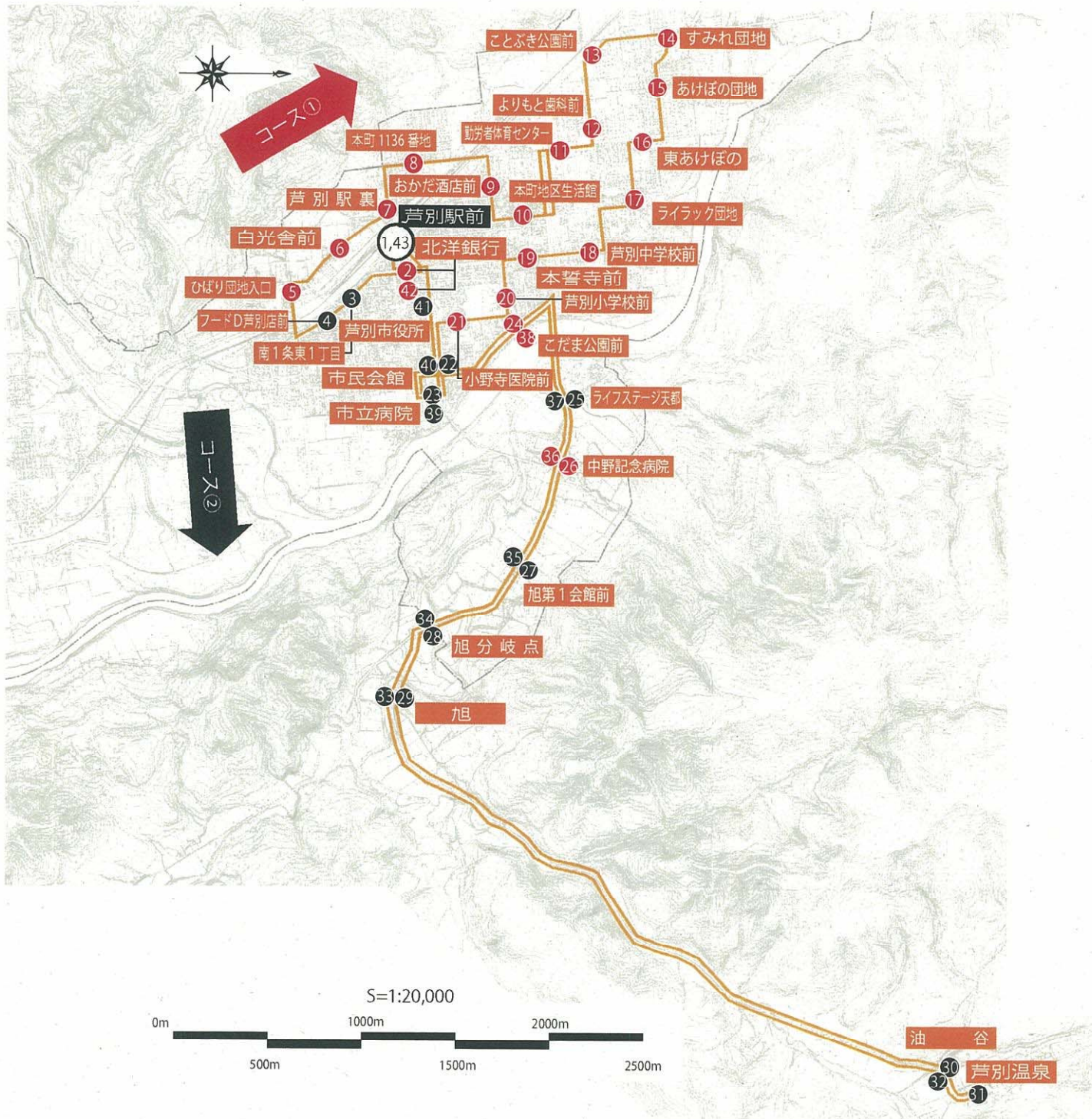
頼城循環線（片道病院経由頼城）



L=27.8 km



頼城循環線（往復病院経由頼城）



L = 24.4 km

新芦別温泉線